

水戸藩の藩校として第9代藩主徳川斉昭により天保12年(1841年)8月に創設されました。藩士に文武両道の修練をつませようと武芸一般はもとより、医学・薬学・天文学・蘭学など幅広い学問をとり入れた、いわば総合大学というべきものでした。現在も一部分が保存され旧弘道館として国の特別史跡になっているほか正庁・至善堂・正門の3ヶ所は重要文化財に指定されています。敷地跡は弘道館公園として梅樹60品種800本が植えられており、梅の名所となっています。

## 主な施設 Information

● **正庁**  
 藩主が臨席し、文武の大試験、その他の儀式などに用いられた第一の場所です。各部屋の周囲には広い畳廊下があります。戦災を免れ、重要文化財に指定されています。  
 ⌚ 利用時間: 9:00~16:00 **有料**

● **至善堂**  
 正庁から広い畳廊下を通して奥に入ると、藩主の休息所であり諸公子の勉学所であった至善堂があります。明治元年に最後の将軍徳川慶喜公が謹慎された部屋としても有名です。  
 ⌚ 利用時間: 9:00~16:00 **有料**

● **孔子廟**  
 斉昭は弘道館を開館するにあたって、その敷地内に精神のより所としての鹿島神社と孔子廟をまつり、学校の聖域としました。  
 ⌚ 利用時間: 開園時間に同じ **無料**

● **八卦堂**  
 弘道館の建学の精神を示す「弘道館記」の碑を収め、弘道館教育の精神的な支えとなるものです。  
 ⌚ 利用時間: 開園時間に同じ **無料**

## マップ Map



正庁



至善堂



孔子廟



対試場



対試場



畳廊下



八卦堂

● **その他の施設**  
 種梅記碑、要石歌碑、学生警鐘、梅林等

## アクセス Access



JR常磐線 水戸駅 → 徒歩で約8分  
 常磐自動車道・水戸ICから約20分 **P** 駐車場 18台